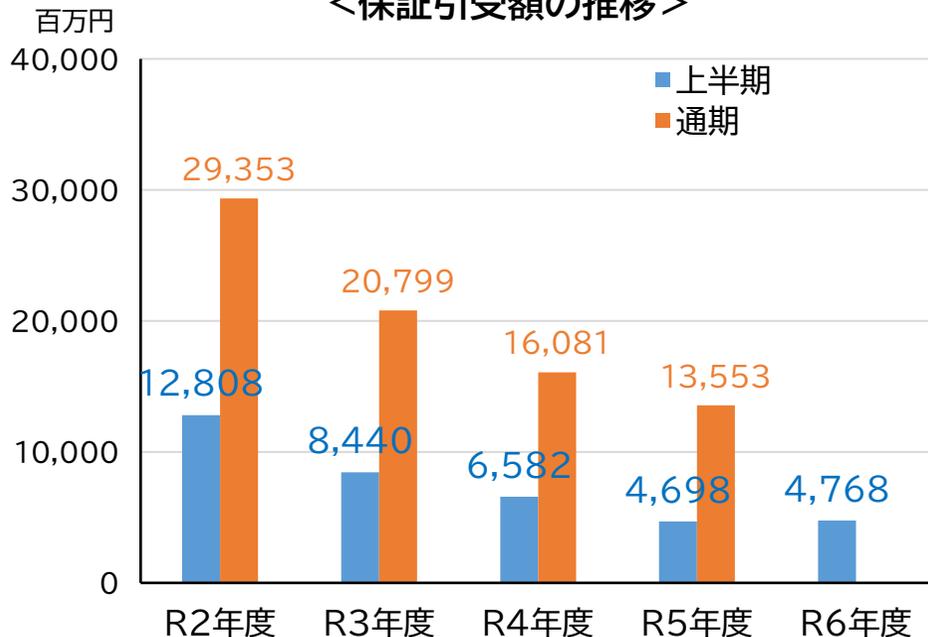


## 令和6年度上半期の林業信用保証業務実績の概況

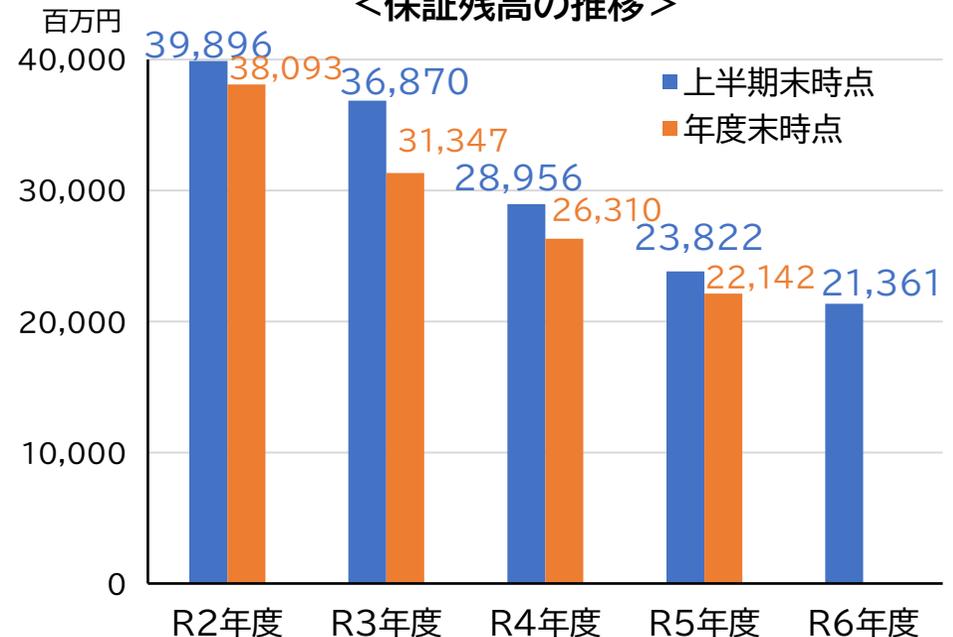
# 1 保証引受

- 令和6年度上半期(4～9月)の保証引受は、48億円(前年同期比101.5%)であり、前年同期と比較して持ち直しの兆しが見える。  
この主要因としては、保証引受額の大宗を占める素材生産及び木材・木製品製造が前年度並みの水準に回復するとともに、造林・育林において新規引受があったこと等が挙げられる。
- 一方、保証残高は、償還が進み、償還額が保証引受額を上回ったこと等から、引き続き減少傾向にある。木材価格が依然として高めの水準で推移している中、被保証者の資金繰りが改善したことが主要因と考えられる。
- 今後も、資金を必要とする林業者等に適切に信用保証サービスが提供できるよう、融資機関との連携強化等に取り組む。

<保証引受額の推移>



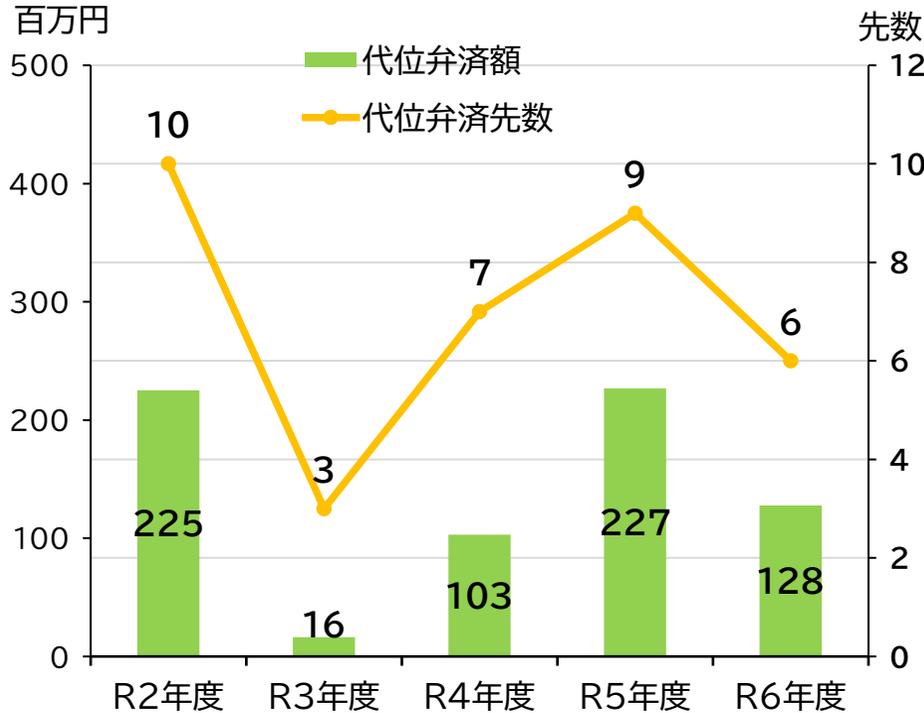
<保証残高の推移>



## 2 代位弁済

- 令和6年度上半期の代位弁済は、128百万円(前年同期比56.3%)、先数は6先(前年同期比66.7%)となった。
- 代位弁済が減少したのは、4月に民間ゼロゼロ融資返済開始のピークを越え、代位弁済額の大きい倒産に波及しなかったことに加え、資金繰りが悪化する事業者が減少したことが主な要因と考えられる。
- しかしながら、日銀短観の業況判断(木材・木製品の中小企業DI)は依然マイナス水準であること、燃料費高騰や人手不足等の影響もあることから、引き続き状況を注視する。また、期中管理等を適切に行い、林業者等が事業継続できるよう、融資機関と連携し、条件変更等に柔軟に対応する。

<代位弁済(金額・先数)の推移>



※各年度とも、上半期(4~9月)実績を計上。

<代位弁済事由の内訳(先数)> ※各年度とも、上半期(4~9月)実績を計上。

	販売不振	放漫経営	他社倒産の余波	既往のシワ寄せ	その他	合計
R6年度	3	1	1	0	1	6
R5年度	3	0	1	1	4	9

<中小企業の業況判断指数(DI)の推移>

	2024年		
	3月	6月	9月
全産業	7	7	8
木材・木製品	▲20	▲10	▲16

注:1 日銀短観(日本銀行の全国企業短期経済観測調査)より作成。  
2 DIとは、「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものである。

<倒産の状況> (単位:件)

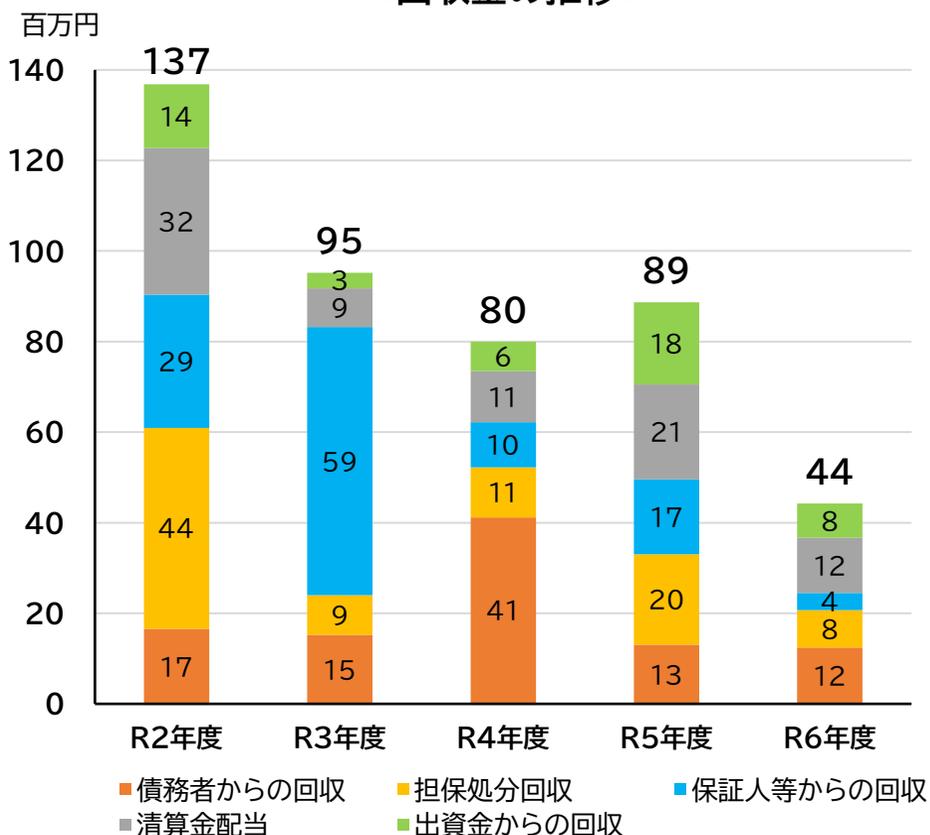
	2024年		
	1-3月	4-6月	7-9月
全企業	2,319	2,612	2,483
木材・木製品	4	8	6

注:株式会社東京商工リサーチ「倒産月報」より作成。

# 3 回収金

- 令和6年度上半期の回収金額は、44百万円(前年同期比49.9%)となった。
- 求償権残高・先数は、令和4年度を底に増加に転じたものの、保証人等からの回収や担保処分による回収等が減少したことから、回収金額は前年同期に比して大きく減少した。
- 引き続き、求償権先の状況等に応じてサービサーも有効活用しながら、効果的な回収に取り組む。

<回収金の推移>



※各年度とも、上半期(4~9月)実績を計上。

<求償権残高・先数の推移>

